

糸魚川市理科教育センター 広報理セン

平成29年度 第 5 号(通算332号)
 発行 平成30年 3月 14日(水)
 理科教育センターFAX : 025-552-2241
 教育研修センターTEL:025-552-0541
 E-mail rika@city.itoigawa.lg.jp
 HP: <https://www.city.itoigawa.lg.jp/dd.aspx?menuid=5329>



平成29年度 市理科教育センター事業を報告します！

今年度も大勢の教職員の皆様から研修会にご参会いただき、ありがとうございました。一年間を振り返り、多くの成果と新たな展望を実感することができました。そこで、今年度を振り返ってみます。

平成29年度は、教職員の皆さんを対象にした研修会を延べ37回計画し、33回実施しました(裏面を参照)。残念ながら黒姫山登山研修会等は、悪天候等で実施できませんでした。改めて平成30年度に実施を予定します。

..... 平成29年度の学年別研修会の一場面より



理科主任会：理科主任の役割や理科教育の現状を研修！



生活科：畑を耕しマルチをして支柱を立て、苗植えの研修！



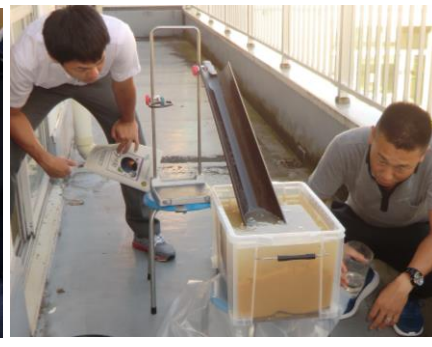
3年2学期の研修：自作教具を使い鏡で光を集めて物を温める実験！



4年2学期の研修：「物の体積と温度」自作ガラス管で水の体積変化を調べる！



5年「人のたんじょう」：紙粘土で胎児成長モデルを自作！



6年2学期の研修：「大地のつくり」地層を再現する実験！



中学1年「光の世界」：光の屈折や反射等を調べる自作教材で研修！



中学3年「化学変化とイオン」：電子の授受を視覚化した自作イオンモデルでダニエル電池を考える！

＝平成 29 年度教職員を対象とした研修会一覧＝

月 日	研修会名	小学校教員	中学校教員	その他	計
4月20日	理科主任会	13	4		17
4月25日	生活科「畑づくり」	21		2	23
5月2日	おもしろ実験研修会	1		1	1
5月30・31日	小6「植物のからだのはたらき」	1			1
6月7・8日	小5「魚のたんじょう」	3			3
6月20・21・22日	川調べ(田海川・前川・能生川)	5	1		6
6月28・29日	ミニ基礎技能研修会(糸小会場)	6			6
7月1日	巡検登山研修会(黒姫山)荒天中止	(参加予定者28名)			
7月26・27日	小3「2学期の実験」	5			5
7月26・27日	小4「2学期の実験」	4			4
8月4日	小6「大地のつくりと変化」(磯部小会場)	1			1
8月22・24日	小5「2学期の実験」	4			4
8月22・24日	小6「2学期の実験」	4			4
8月31日	小4「月や星の動き」(大和川小会場)	8			8
9月19日	中1「光の世界」		5		5
9月27日	生活科「あきのひろば」	2			2
11月1・2日	サケの採卵受精活動	4			4
11月14・15日	小3「明かりをつけよう」	1			1
12月25・26日	小3「つくってあそぼう」	4			4
12月25・26日	小4「物のあたたまり方」	4			4
12月27日	小5「人のたんじょう」(能生小・教セン会場)	4			4
1月17日	ジオパーク研修(そば打ち)	3			3
1月24日	中3「化学変化とイオン」		3		3
合 計		98	13	3	114

※研修会場は、主に能生小学校理科室と教育研修センターの2会場で実施

☆研修会後にアンケート調査を行いました。(Q:「研修内容は、実際の授業などで活用できそうな内容でしたか?」)

☆その結果 ⇨ 活用度 評価4: 89% 評価3: 10% 評価2: 1% 評価1: 0%

【評価4: 活用できそう・・・評価1: 活用できそうもない】

⇨多くの参加者の皆さんから好評を得ることができました。ありがとうございました。

<その他>

・糸西自然友の会 参加者 157名 ・備品の貸出・提供＝44回(33品目)

※貸出備品の一覧表は、理センホームページに掲載。提供教材等は、ご相談ください。

糸魚川市理科教育センターは、小中学校での理科授業の工夫や理科教育に関する情報、教材教具等について先生方の研修やサポートをします。研修会では、多様な教材教具を用意してお待ちしています。また、教材教具や地域の自然等についてのお尋ねも承ります。いつでも気軽にご相談ください。

次年度は、小学校で新学習指導要領の移行期を迎えます。今まで以上に子どもたちが活躍する理科授業を目指して、教材教具の開発を中心にみんなで研修を深めたいと思います。次年度もよろしくお願ひします。

さあ！旅立ち！

昨年11月に能生地域の3小学校(飼育は4小学校)で子どもたちが採卵・受精、飼育してきたサケの稚魚が大きく育ち、大海を目指した旅たちの時期を迎えています。サケの活動に参加した子どもたち！ありがとう！サケの新たな命が誕生し、立派な稚魚になりました。



旅立ちを待つサケ！

小中学校では、丁度、卒業旅立ちの時期！サケが故郷に帰ってくることに重ね合わせ、旅立つ子どもたちの健やかな成長と「やがてふるさとへ！」の期待を込め、併せて先生方のますますのご発展をご祈念申し上げます。